

# 令和6年度 長野県災福ネットセミナー 開催要領

～ 故郷に残りたい被災者を支える 長野県DWA Tの活動をふりかえって ～

## 1 目 的

令和6年能登半島地震では、金沢市内に1.5次避難所が設置されるなど広域避難の仕組みが稼働し、災害福祉支援の新たな一歩がスタートしました。

一方で、甚大な被害を受けた奥能登地域の避難所では、高齢化率が50%を超える中で、「故郷を離れたくない」「移動する手段がない」「その判断がつかない」という高齢者が少なくありませんでした。

長野県DWA Tは、先遣活動によりこのようなニーズを把握、「ここに残りたい」被災者に寄り添うこともDWA Tの使命だと考え、1月8日から能登町の避難所での支援活動を開始しました。

石川県からの派遣要請を受け、3月末まで一般避難所支援や福祉避難所の運営支援のため25クール、のべ約600名がDWA T活動に参加しました。

このセミナーでは、能登半島地震の支援活動とDWA Tの果たした役割をふりかえるとともに、これからの長い復興の期間を見据えて、私たちにできることを考えます。

2 日 時 令和6年6月13日（木） 13：30～16：15

3 会 場 浅間温泉文化センター 大会議室（松本市浅間温泉2-6-1）

4 主 催 長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会（災福ネット）

5 共 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 / 長野県社会福祉法人経営者協議会

6 参加対象 災福ネット関係者（構成団体・ふくしチーム員）、災害医療関係者、行政の防災・福祉担当者、社会福祉法人・福祉事業所・福祉諸団体役職員、福祉専門職団体関係者  
地域包括支援センター、社会福祉協議会、興味関心のある方

7 日 程 次ページのとおり

8 定 員 200名

9 参加費 無 料

10 申し込み グーグルフォームにて6月7日（金）までにお申込みください。  
(<https://forms.gle/b2bC3qwiGP1YZ62M7>)

11 問合せ先 〒380-0928 長野市中御所岡田98-1  
長野県災福ネット事務局（長野県社会福祉協議会内）  
TEL:026-226-1882/FAX:026-227-0137/ E-mail:vceneter@nsyakyu.or.jp

12 その他 本セミナーに係る個人情報、長野県社協の「個人情報の保護に関する方針」に基づいて適正に取り扱います。また、本セミナーを中止または延期する場合は、長野県社協のホームページ(<http://www.nsyakyo.or.jp>)に掲載して通知します。

13:30	◆ 長野県災福ネットセミナー
	○ 令和6年能登半島地震福祉支援活動の概況 行政説明：厚生労働省（又は全国社会福祉協議会）
	○ 長野県DWA Tの活動概要 報告：長野県災福ネット
13:50	○ 記念講演（オンライン） 「能登半島地震から6カ月、能登町、珠洲市の今」（仮題） 講師：能登町小木クリニック院長 瀬島照弘氏
14:30	(休憩 20分)
14:50	○ <u>パネルディスカッション</u> <u>「町に残りたい高齢者を支え続ける ～ 能登町の経験に学ぶ ～」</u> パネラー 能登町健康福祉課課長補佐 千場 かおり 氏 パネラー 能登町社協小木デイサービスセンター所長 井上 博友 氏 パネラー 長野県災害派遣福祉チーム 橋本 昌之 コメンテーター 能登町小木クリニック院長 瀬島 照弘 氏 コーディネーター 防災福祉アドバイザー、オフィス園崎 園崎 秀治 氏
16:00	○ <u>災害福祉支援の強化に向けて</u> 講師：園崎 秀治 氏
16:15	○ 閉会



能登町  
小木クリニック  
瀬島照弘 院長



朝日新聞デジタル  
「たった一人の救護班、医師はその時に備えていた。」



Office  
SONOZAKI  
園崎秀治 代表

Office SONOZAKI ホームページ  
地域・福祉・防災を ともに考える  
<https://www.officesonozaki.net/>